



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104
☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906
URL <https://www.healthcare.gr.jp>
E-mail : center@healthcare.gr.jp
編集代表 島野圭介
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

◆2025年度	年会費	入会金
歯科医師	12,000円	5,000円
スタッフ/その他	3,000円	3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店
普 0051809
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会



CONTENTS

巻頭 ヘルスケアミーティング2025 みんな集まれ！ 2日目の午前は「あっちもこっちもヘルスケア」..... p.1	フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】21..... p.9
歯科衛生士オンラインサロン紹介..... p.2	告知板..... p.9, 12
調査1 Do プロジェクト(2024年度)の変更について/ 新入会音信..... p.3	ウステリア普及プロジェクト3..... p.10
学校歯科フォーラム1..... p.4	歯科クリニックのパソコンネットワーク環境健全化計画3..... p.13
事務局から..... p.5, 8	ヘルスケア・フォーラム..... p.14
認証ミーティング案内..... p.5	Healthcare bibliography..... p.16
どうしてヘルスケア診療を追求しようと思ったのか? 前編 p.6	認定歯科衛生士実技検定会(2026年7月)受検者募集案内/ 第18期基礎コース追加募集案内..... p.17
	ヘルスケアミーティング2025コンテンツ紹介・案内 p.18

催しものご案内

① 第6期実践セミナー

日時：2025年7月20-21日
2026年2月22-23日
場所：ホテルフクラシア大阪ベイ

② DH オンラインサロン

日時：2025年7月22日(火)

③ 認定歯科衛生士実技再検定会

日時：2025年9月15日(月祝)
場所：太陽歯科衛生士専門学校

④ 歯科衛生士育成基礎コース(第1回)

日時：2025年9月15日(月祝)
場所：太陽歯科衛生士専門学校

⑤ 認証ミーティング(第22回)

日時：2025年10月5日(日)
場所：AP浜松町&Zoom

⑥ ヘルスケアミーティング2025

日時：2025年11月2-3日
場所：一橋大学一橋講堂+会議室

重要なお案内

- 以下の同封物をご確認ください
- 1. 会員用ホームページパスワード変更のお知らせ
- 2. 口座振替のご案内
振替登録されていない方対象
- 3. 歯科衛生士オンラインサロン案内
- 4. HCM2025案内

ヘルスケアミーティング2025 みんな集まれ！ 2日目の午前は「あっちもこっちもヘルスケア」

林 浩司 (コアメンバー)



今年のヘルスケアミーティングは11月2-3日に昨年同様一橋大学の一橋講堂(東京都千代田区)で開催されます。一日目は「歯周基本治療の実践」というメインテーマで前号ニュースレターで古市貴暢さんから紹介がありました。そして二日目午前は、昨年好評だった「あっちもこっちもヘルスケア」を開催します。

このプログラムの趣旨は年一回開催される学術大会(ヘルスケアミーティング)の基調講演や外部講師による講演とは別に、一般会員が自由に発表・参加できる場としてヘルスケア歯科診療に関わる歯科医師、歯科衛生士だけでなく歯科医療に関わるすべてのスタッフが気軽に聴講できることにポイントがあります。診療所スタッフにこぞって参加していただき、診療所全体の意識を高める機会にしていた

だきたいと考えています。前回と同様に大講堂およびA・B会場の3箇所それぞれ2コマが開催され合計6つのプログラムを準備しています。

さて、本学会では2020年新型コロナウイルス感染症の影響から対面での交流や研修会が激減したなかで、活動的な会員の多くは委員会やプロジェクト、フォーラムといったチームを作って運営してきました。それから5年が経過しさまざまな成果が出てきたのではないのでしょうか。そのチームのなかから歯科衛生士育成プログラム運営陣、認証委員会、赤ちゃん歯科フォーラム、文献抄読会フォーラムから発表があります。またそれとは別にコミュニケーションと二日目午後につながるカリオロジーのプログラムもあります。気になるタイトル・演者や内容などは次ページで紹介します。

まずは「あっちもこっちもヘルスケア」担当側から見どころをワンポイント紹介したいと思います。

大講堂でのプログラム（オンライン参加の方はこちらのみ視聴できます）

1コマ目は、認証委員会がプロデュースする「あつまれ ヘルスケアの森～ヘルスケア診療攻略の手引き」です。院長が当学会に入会してヘルスケア歯科診療を目指したとき、スタッフとともにさまざまな取り組みで苦労があったのではないのでしょうか？ 近年認証診療所となった、ほんだ歯科クリニック（神戸市）とワコ歯科・矯正歯科クリニック（川崎市）が、それぞれの診療所について発表します。スタッフとともにどのような取り組みを行い、今後どういう未来を考えているのか診療所づくりのヒントになると思います。

2コマ目は、「根面う蝕の新しい診査法 R-ICDAS を使おう！」という演題で、とくに根面う蝕の診査診断・治療法に焦点を当てて口演してもらう予定です。歯科治療における二大疾患はう蝕と歯周病です。みなさんも日々のヘルスケア歯科診療の中で、この二大疾患への対応に力を注いでいると思います。歯周病は1日目にお任せして、う蝕に関してはこちらの時間になります。

A会場（しっかり学びたいスクール形式の会場です）

1コマ目は、文献抄読会・EBMヘルスケアフォーラムからプロデュースします。このフォーラムでは臨床の疑問に対して、論文をベースに答えを見つけるにはどのようなことが必要なのか考える場として活動してきました。今回は昨年からのテーマになっている歯周基本治療について参加者といっしょに考えたいと思います。臨床の疑問について、そのままにせず考えることを大事にする歯科医師が対象です。

2コマ目は、発足した当時から熱い活動を続ける赤ちゃん歯科ファーストから「伝えたい！赤ちゃん歯科入門 ヘルスケア診療爆伸び」と題し、ヘルスケア歯科診療における小児歯科を紹介します。じつはこの企画は一番要望が高かったプログラムでもあります。小児の口腔機能発達不全症が保険診療にも組み込まれれば経ちました。子どもを持つ方、これから育児に関わる方にとって小児の口腔機能に関心を持つことは当然だと思います。もちろん乳幼児、小児の患者さんが多い診療所でも関心が高い内容だと考えています。

B会場（聴講者も一緒に参加できる自由形式の会場です）

1コマ目は、普段の診療に欠かすことができないコミュニケーションについて学べる時間になっています。とくにわたなべ歯科（春日部市）では以前から心理学を応用したコミュニケーション方法を実践しています。「明日からできるコミュニケーション術」として参加された方々と一緒に患者さんや日常生活のなかでの上手なコミュニケーションのヒントになればと思います。

2コマ目は、昨年に続き歯科衛生士育成プログラム運営陣がプロデュースする「日ヘル認定 DH★取得の先に見えるもの★私たち、なかなかの『のびしろガール』じゃない？」から、歯科衛生士の多様な働き方から認定歯科衛生士の目指す方々までさまざまな働き方・目標を参加者同士でおしゃべりしたいと思います。

みなさん、いかがでしょうか？ このようにさまざまなテーマを用意しています。歯科医療従事者、歯科医療を志す学生など学会に参加したすべての方にぜひ「あっちもこっちも」聞いてみたいと思うような内容となっています。奮ってのご参加お待ちしております。



7.22(火)
21:00-22:00

**症例発表
作成法
オンライン
サロン**

会員および会員診療所
歯科衛生士限定

PPT keynote canva
パワーポイント keynote canva

歯科衛生士オンラインサロン〈症例発表 作成法〉

日時：2025年7月22日(火) 21:00～22:00

ナビゲーター：林 由加里（歯科衛生士育成基礎コース スタッフリーダー）

分かりやすいプレゼン作成で評判の講師：山田美穂・落合真理子

開催方法：Zoom ミーティング（要登録）

参加費：無料

当会の歯科衛生士育成プログラム講師陣（ハイジなわた歯）が「どれを使ってどう作る？」

症例発表スライドの作成方法を伝授する1時間です。

★プレゼン作成をゼロからお伝えします。

★パソコン初心者大歓迎、症例発表作成を全力でバックアップします。

★パソコン、タブレット、スマホでもプレゼン作成できるようになります！

会員歯科衛生士または会員診療所にお勤めの歯科衛生士ならどなたでも参加できます。

お気軽にご参加ください（アーカイブ配信はございません）。

お申し込みは学会ホームページもしくはQRコードから

オンライン
サロン
紹介



調査 1

Doプロジェクト 調査 1 (2024年度) の変更について

Do プロジェクト調査 1 へのご協力をお願いします。この Do プロジェクト調査 1 資料提出は、認証診療所の更新条件です。なお、2021 年度調査よりバリエーションを増やした「初診患者基本」+「ワンポイント調査」を行ってまいりましたが、3 年間の調査の結果、当初期待していたほどのデータが集まりませんでした。よって「ワンポイント調査」は 2024 年度調査から廃止といたします。調査にご協力いただきました会員様にはこのような結果になりたいへん申し訳ございませんが、引き続きよろしく願いいたします。

※ 調査の目的：

- 1) 日本ヘルスケア歯科学会の会員診療所の協力により調査を行い、日本における歯科疾患の状況を把握することを助ける資料とし、今後の歯科医療環境の改善に役立てる。
- 2) 調査協力診療所に来院する初診患者の状況を把握して、診療システムの改善に役立てる。

※ 調査参加資格：

- 1) 日本ヘルスケア歯科学会会員の診療所
- 2) 資料（必須項目）をデジタルデータで提出できること

※ その他：

患者さんを匿名化して提出していただいたデータは、事務局で診療所名を匿名化したうえで集計します。結果は会誌にて公表します。

※ 資料提出期限：2025 年 9 月 1 日～10 月 31 日（認証診療所は更新要件です）

調査対象：2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日に来院した初診患者全員

	調査項目	備考
基本データ	生年月日、性別、初診年月日、初診時年齢、カルテ番号	●必須項目
2024 年度初診患者調査	ウイステリア ●5 歳から 20 歳：DMFT ●20 歳以上：DMFT・残存歯数・歯周病進行度・喫煙経験	●初診患者全員すべての項目のデータが揃っていません。 もかまいません。
	デンタル X ●抽出ファイル（歯周病・dmf-DMFT）	

提出される調査の抽出用ファイルを学会ホームページよりダウンロードしてご利用ください（抽出マニュアルも同梱）。

新入会音信

2025 年度の新入会者数

	2024 年			2025 年						合計
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	
歯科医師	2	0	2	2	5	5	5	4	4	29
歯科衛生士	3	1	1	3	4	4	9	1	2	28
歯科技工士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	5	0	0	6
法人	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	5	2	3	5	9	10	19	5	6	64

新入会者紹介

永島利通（歯科医師）

渡辺 勝先生のクリニックに見学に向った際、当学会へお誘いいただきましたが、聞き流してしまっていました。ですが某セミナーで「これからはウェルス・ヘルスケアの時代」という内容のお話を聞き、ビビッと直感が走りました。すぐ渡辺先生に連絡し、学会のお話で感動し即入会。ヘルスケアを地球に広めるべく楽しく学んでまいります。

河西亜早美（歯科衛生士）

新人歯科衛生士のころ、ヘルスケアの歯科衛生士育成プログラムに参加させていただいたのですが、その際の講師に落合真理子さん、田村 恵さんがおられました。多方面で活躍されており、おもわず目で追う、そんな存在の方々です。ご縁あって、お会いさせていただく機会があり、今後も多くの学びを得たいと考えました。縦のつな

がり、横のつながりが素敵な会だと思っています。

吉田 仁（歯科医師）

埼玉県で開業をしております吉田 仁と申します。今は口腔機能の向上と改善に力を入れておりますが、うまくいっていない状況です。よろしく願いいたします。

新連載！

学校歯科
フォーラム

1

このたび学校歯科フォーラムでは、ニュースレター連載を通じて、その活動をご紹介します。フォーラムに関わる方々が学校や地域で実践してきた取り組みを紹介し、診療室という枠を超えて、学校を通じて地域全体の口腔の健康づくりに貢献する視点をお届けします。この活動の意義を共有し、学会員のみならずが学校歯科医という立場にも関心を持って参加いただけることを願っています。

ご一読ください。

ヘルスケアミーティング 2025 にてポスター発表に参加します。

ぜひ立ち寄ってお声がけください。

(上田康弘・草加市開業)



生きる力を育む口の健康づくりを目指して

—埼玉県蓮田市立黒浜小学校の実践から—

鈴木正臣（蓮田市開業）

今回、第1回目を担当させていただくことになりました鈴木正臣です。初回は、私が長年関わってきた学校歯科保健活動、とくに埼玉県蓮田市立黒浜小学校での取り組みを中心に、口腔の健康づくりが子どもたちの「生きる力」を育む基盤となることについてお話したいと思います。

黒浜小学校は、私の出身校でもある創立151年を数える中規模校で、全校児童322名が豊かな自然と地域の支えのなかで学んでいます。自身がかつて通った学校を担当できることは、やはり特別な思いがあり、感慨深いものがあります。

私はこの学校の校医として40年以上関わってきました。学校歯科医として私が大切にしてきたのは、単にむし歯を見つけ治療を促すことではなく、「できるだけ歯を削らない」「子どもたちが自ら健康を守れるようになる」ことを支えるという視点です。

たとえば、健診で初期のむし歯（CO）が見つかったとしても、安易に勧告書を出すのではなく、再石灰化を期待して経過を見守るという判断も少なくありません。もちろん、その判断が間違っていればむし歯は進行してしまいます。しかし、実際には適切な環境と指導によって、むし歯の進行を抑え、再石灰化が進んで改善されるケースが多くみられるのです。

黒浜小学校では、校長先生をはじめ、教職員・養護教諭・歯科衛生士など、多くの方々が力を合わせて、歯科保健活動に熱心に取り組んでくださいました。毎週のフッ化物洗口「歯っぴータイム」、学年別の食育授業、ブラッシング指導、「歯っぴー通信」など、学校・家庭・地域が一体となって実践を重ねています。

こうした日々の取り組みの積み重ねにより、六年生約50名が「むし歯ゼロ」という、私自身の長い歯科医人生の中でも初めて経験するほどの感動的な成果を得ることができました。低学年の段階ではむし歯が見られた児童もいましたが、フッ化物洗口の継続や日々のブラッシング指導により、初期う蝕が再石灰化し、最終的には高学年において全員が健全な口腔状態を維

持するに至りました。この結果は、単なる数値の成果ではなく、そこに至るまでの丁寧な支援と継続的な連携の重みを感じさせるものです。

このような成果を実現できたのは、校長先生をはじめとする教職員の皆さんの理解とご協力、養護教諭の情熱、そして歯科衛生士の根気強い支援があってこそであり、心より感謝申し上げます。

私は、地域における歯科医療の役割は、自院に通う患者さんだけを診ることにとどまるべきではないと考えています。ヘルスケア歯科診療所が本来目指すのは、地域全体の健康づくりへの貢献です。だからこそ、学校歯科医という立場から、診療室の外に出て、子どもたちの未来のために行動していくことに、私は強い使命感を持っています。

たとえその地域の出身でなくても、学校歯科医として取り組むことには深い意味があります。「この学校のむし歯を少しでも減らそう」「子どもたちの健康を本気で守ろう」という思いがあれば、誰でも学校現場で大きな役割を果たすことができます。

日本学校歯科医会とは日本歯科医師会とは独立した組織で、会員の会費によって事業が展開されています。私たちは、地域の子どもの未来を守る責任を共有する仲間です。診療室内のケアにとどまらず、学校や地域に積極的に関わり、子どもたちが健やかに育つ環境を整えることが、これからの歯科医療人に求められる使命だと感じています。

また、学校で活動するうえで最も大切なのは、校長先生をはじめとする教職員や養護教諭の先生方との信頼関係を築くことです。実際に子どもたちの生活を支え、現場で指導を行うのは先生方です。だからこそ、私たち歯科医は「専門家」として指導するだけでなく、「現場の仲間」として協働する姿勢が求められます。

私はこの連載を通じて、ぜひ多くの歯科医師のみなさんに「学校歯科医になろう」とお伝えしたいと思っています。まずは校医として学校に足を運び、子どもたちの笑顔に出会い、先

生方と語り合ってみてください。その一歩が、地域に、そして日本全体に大きな変化をもたらします。私たち一人ひとりの行動が、未来を変える力になると信じています。

最後に、黒浜小学校の取り組みをまとめた資料を添付します。資料には「歯っぴーファイル」、年間活動計画、各学年の授業内容、歯科衛生士による指導風景、校内啓発活動の様子などが収められており、他校の参考にもなるはずです。ぜひご覧いただき、今後の活動の一助としていただければ幸いです。

私たちの目標は、子どもたちが健康で笑顔あふれる生活を送り、未来に向かって力強く歩んでいけるよう支えることです。「生きる力を育む口の健康づくり」という理念のもと、これからも多くの仲間とともに取り組みを続けてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

埼玉県東田市立黒浜小学校
自分らしい生き方を実現しようとするキャリア教育の推進
 ～学級活動を中心として、健康な心身を育成し夢や希望を深める～

学校歯科保健目標 自分の歯・口の健康に関心をもち、歯・口の健康について理解し、生涯にわたって健康で安全な生活を主体的に実践しようとする態度を養う。

本校は、埼玉県の東部に位置し、全校児童数322名の中規模校です。151年の歴史と伝統があり、多くの緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、地域と共に子供たちを育てています。

保健教育(特別活動)

1～6年の縦のつながりを意識した授業の実施

歯科指導

- 1年 歯の王様を探そう
- 2年 前歯をみがいて歯っぴータイム
- 3年 おやつ選び方を考えよう
- 4年 よくかんでおいしく食べよう [歯の健康づくり講座]
- 5年 歯肉の観察をしよう [小学生歯みがき大会]
- 6年 健康な歯肉をつくらう [kids 歯ツカゾン]

食育指導

- 1年 何でも食べて元気もり大作戦
- 2年 好き嫌いをなく食べよう
- 3年 カルシウムをとろう
- 4年 食べ物の3つの働きを知ろう
- 5年 食事と咀嚼について考えよう
- 6年 食べ物と健康について知ろう

児童委員会の活動

6月と11月は歯っぴー活動強化月間

※給食にてかみかみ献立週間をつくり、よくかむ指導
 保健委員・給食委員による校内放送・クイズ
 給食委員による完食週間の完食調べとその表彰
 計画委員によるあいさつ週間のあいさつ運動
 運動委員による校庭や遊具の使い方のよびかけ

養護教諭による歯みがきタイム・歯っぴータイム指導
 歯と口に関する標語ポスターの募集と校内掲示

食と口の健康講座
 食と口の健康講座

学校歯科医との連携

4・5月の歯科健診と11月の臨時歯科健診

学校医によるクイズを交えた
 事前指導・あいさつ体操指導
 健診中のCO-GO個別指導

歯っぴータイム 毎週水曜日のフッ化物洗口
 R5.11月～全校で「ぶくぶく
 キラー」の曲を流し、音楽にあ
 わせて、うがいしている。

歯科衛生士によるフッ化指導(全学年)

市の栄養士・保健師による食育指導(全学年)

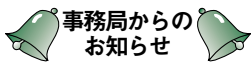
外部講師による授業(日本学校保健会・ライオン)

家庭との連携

わたしの歯っぴーファイル

○歯みがきカレンダー(夏休み・冬休み)
 ○歯みがき調べ(歯の染め出し結果)
 保護者の方にコメントを依頼し、家庭と一緒に歯の健康を
 把握している。6年間の記録を残す歯っぴーファイルと歯
 肉炎予防マニュアルは毎年授業の中でも活用している。

フッ化物洗保護者説明会や学校保健委員会の開催
 歯っぴー活動を「歯っぴー通信」として定期的に家庭へ啓発
 「歯の健康づくり講座」授業が教育新聞に掲載
 歯に関する情報冊子を授業で
 活用後、家庭へ持ち帰り情報提供
 市の広報に養護の対談記事掲載



オピニオンメンバー会議 (第8期 第2回)

2025年10月5日(日) 10:00～ AP 浜松町(東京)とZoom オンライン

今後の予定 8月末頃 お知らせと出欠の送付 / 9月末頃 議案書送付

認証ミーティング (第22回)

オピニオンメンバー会議併催

2025年10月5日(日) 午後

会場: AP 浜松町(東京) & オンライン (Zoom)

会場は AP 浜松町(東京)にて行います。

会員は、どなたでも視聴が可能です。視聴ご希望の方は、学会ホームページよりお申込みください。

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できるまたとないチャンスです。視聴を申し込まれた方は、後日 YouTube でアーカイブが視聴可能です。

■ 認証審査エントリー診療所

- 延藤歯科クリニック (兵庫県)
- あきやま歯科クリニック (兵庫県)
- さくら歯科医院 (埼玉県)

■ 外部審査員 未定

※詳細は次号ニュースレターにてお知らせします。

■ 視聴方法 (無料)

会場参加 / オンライン (Zoom ウェビナー)
 申し込み: 8月末頃より受付開始

どうしてヘルスケア診療を追求しようと思ったのか？〈前編〉

藤木省三，丸山和久，千草隆治，高橋 啓

日本ヘルスケア歯科学会（当時研究会）が生まれて27年が過ぎ、当時の熱い思いを知る機会がほとんどなくなりました。そこで、ヘルスケアの先輩（丸山和久，千草隆治，高橋 啓）と私の4人でヘルスケアを始めた当初の思いとその後20年以上続けてきた結果、感じたことをまとめてみました。新しく入られた方々に、ヘルスケアを長く続けることの素晴らしさを感じていただければ幸いです。（文責：藤木省三）



前編（今回掲載）

- ❶ ヘルスケア診療へのきっかけ。何歳頃？ それまで目標にしていたことは？
- ❷ ヘルスケア診療を始めたときに参考になったこと
- ❸ 始めたときに難しかったこと
- ❹ 乗り換えた工夫や状況

後編（次号掲載予定）

- ❺ よかった、続けようと思えた最初の頃の思い出。臨床だけでなく院内、患者の雰囲気とかも
- ❻ ヘルスケア診療を続けていて、それまで見えていなかったことや気がついたこと。臨床だけでなく…
- ❼ ヘルスケア、ピフォーアフターで診療方針が変わったことがあるか
- ❽ 長年やってきて正直な感想

❶ ヘルスケア診療へのきっかけ。何歳頃？ それまで目標にしていたことは？

丸山

30代前半で開業して、当時の目標は「経済的な安定」と「良心的に治療する」ぐらいだったと思います。補綴、保存治療後の定期検診も、患者囲い込みの手段としか考えられず踏み切れていませんでした。ヘルスケアへは開業して5年ほど経ったころ、神戸市垂水区歯科医師会で「灘区開業」の藤木さんの話を聞いたのがきっかけです。上質な歯科医療は羨ましかったです。あれは生活レベルや「デンタルIQ」が高い灘区だからできること（垂水区ではできない）と感じていました。当時の日本ヘルスケア歯科研究会に入会しましたが、2年ぐらいはニュースレターを眺めるだけ。40歳、2002年に学術大会に初めて参加して、もっと知りたい！ 関わりたい！ と強く思いました。

千草

ヘルスケアに出会ったのは、大学院修了後に初めて勤務した診療所の技工室で読んだ、歯界展望だったと思いますが、熊谷崇先生の症例報告でした。30歳だったと思います。大学院は補綴科専攻だったので、メンテナンスといえば、補綴物のメンテナンスと理解していました。もちろんそれは重要だと考えていて、それまでは、自分が一生懸命作った補綴物をいかに長く維持させるかに重きを置いて、ちゃんとした補綴物を作ることとそれを長く維持し機能させることを目標としていました。当会に出会ったときは、「健康を守り育てる歯科医療」とはなんと素晴らしい概念かと目からウロコで、しかもそれが科学的根拠に基づいているということに衝撃を受けました。

高橋

開業前に、これからは予防が大事と聞き、取り組もうと思って入会しました。そのころ当会のセミナーが人気すぎて、参加するのに1年待ちました。それゆえ、待つ間は本やDVDで勉

強して、自分の知識を整理するとともに、院内資料作りから始めていきました。それが後でとても役に立ちました。何が役に立つかわからないものです。

藤木

私の場合、予防のきっかけは学生時代に参加していた幼稚園、保育園のむし歯予防のサークルでした。開業当初から6歳臼歯を守る「6リコール」をやっていました。ミュータンス菌の勉強も当会所属以前からよくしていた。サリバテストをすることで脱灰と再石灰化に関して勉強できたのはよかったです。友人のところで見た美しいデンタルエックス線写真の影響も大きかったと思います。それがきちんとした資料を取ること、患者に説明することにつながっています。と言いつつ、大学でも習わなかったし、勤務医時代にも歯科衛生士がいなかったので、開業時、歯周治療は歯科医師がするものと思っていた時代でした。

— みなさんが入会するきっかけは、どうでしたでしょうか。ヘルスケア歯科診療は、やり切らないと本質が見えてこない臨床です。ぜひ、ヘルスケアの本質に触れてもらいたいと思っています。

❷ ヘルスケア診療を始めたときに参考になったこと

丸山

とにかく「前を歩く人たち」の話を聞き、医院見学によく行きました。当時の関ヘルメンバーにはたいへんお世話になりました。個人的な大ヒットは、それまで直接お話ししたことのなかった藤木さんに「東京行きの道中をご一緒させてもらえませんか」とメールして、応じていただいたことです。その後地元の仲間が定期的に集まる場ができて、そこでの情報交換も大いに参考になりました。

千草

2つの診療所に勤務したあと、33歳で開業しました。1998年でした。開業する直前に前身の日本ヘルスケア歯科研究会が発足したので、入会し発足集会にも参加しました。参考にしたのは研究会主催のシンポジウムやニュースレターで、当時の基礎コースも東京、大阪両方を受講しました。当時はかなり敷居が高いと感じていたのと自分のマイペースな性格を考え、できることからのんびり始めました。当時から藤木さんもシンポジウムなどで、自院にあったペースでいいんだというようなニュアンスで言われていたので、お言葉に甘えた感じもありました。しかし、その甲斐あってか、当時一緒にシンポジウムや基礎コースに参加してくれたスタッフがまだ勤務してくれており、その時期にスタッフが長く勤めるベースができたのかもしれませんが。最初のハードルは口腔内規格写真と考えていたので、比較的早い段階に有限会社サンフォートの鈴木昇一さんを診療所に招いてレクチャーしてもらいました。また時代的にデジタルへの転換期であったのはラッキーでした。最初はメンテナンスに来ている患者さんから徐々に撮影を始め、初診患者のルーティーンになるまでには少し時間がかかりました。

高橋

本やDVDの講演を参考にしました。今は、オンラインでの講習や集まりもあるので、フル活用すれば、かなりのことができます。ただ、メール等で質問するにしても、面識のない方には、なかなか難しいものです。私の場合も、当時の関ヘルに参加して、リアルな関わりができて、質問できる関係性が構築され、加速度的に進化していったように思います。

藤木

歯周治療に関しては岡歯科（大阪府）の後を追いかけることでした。何度か岡歯科の歯科衛生士に教えにきてもらったのは大きかったです。目標となる症例が身近にあったのが刺激になりました。

——みんな、特別の関係性があったからヘルスケア診療を勉強したということではありません。まわりをみても、診療内容が自分に合っている、こういった臨床を追求したい、という気持ちから医院を動かし、みんなで参加して、レベルアップしてきたように思います。

3 始めたときに難しかったこと**丸山**

始めたときのスタッフとはチームになりきれませんでした。当時はイライラしたのですが、今から思えば院長も先を見通せていないし頼りないリーダーで、無理もなかったと思います。その後はスタッフに恵まれてラッキーでした。歯科衛生士の確保も当会の繋がりがきっかけで、某養成校さんと関わりができたことは大きかったです。

千草

臨床データ採得のルーティーン化でした。患者さんに臨床データ採得の必要性を理解していただき、納得してスムーズに診

療を進めることと、スタッフ自身が臨床データの意義や必要性を理解して患者のために自主的に行動するタイミングやそれらのバランスがうまくかみ合わない時期がありました。口腔内写真を撮っている途中で患者さんがユニットを降りて帰ってしまったり…。私を含めて診療室全体で、臨床データの採得と効果的な活用方法が統一されていなく、また、そのようなデータの蓄積と活用がその後の処置、治療の質がリンクしていることをまだ実感できていなかったため、患者さんを納得させる体制が整っていなかったのだと思います。

高橋

本やDVDだけでは、実際にどうするのか分からない部分が結構ありました。これでいいのだろうか？ となりました。また、当時の学会は、医院が大型化していくことが賞賛されていて、自分はちょっと違うのかなと感じていました。そんなときに関西ヘルスケア談話会に出会い、自分のお手本になると思いました。関ヘルの方に言われたことは、全部やったように思います。「まずは全部まねる、それからオリジナルを入れたければ入れればいい。」を意識していました。

藤木

最初に採用した歯科衛生士には、あれもこれも期待しすぎて1年で辞めてしまいました。反省して、できることからゆっくり進めていくことの重要性を学んだことを覚えています。スタッフ数が少なかったため、熊谷先生のように全員の資料を取るのには難しかったので、最低限子どもと歯周治療を受ける人から資料を揃えていきました。何を優先するか、常に考えておくことが大事だと思います。

——私たちがヘルスケア診療を始めたときは、まだ試行錯誤の部分も多かったため、トライ&エラーで実践していくという感じだったかと思います。だんだんノウハウも蓄積されていき、今取り組む医院は、無駄な努力をしなくていいように思います。先人のノウハウを今の診療室に上手に活かしましょう。

4 乗り換えた工夫や状況**丸山**

先輩、仲間からのアドバイス、情報交換、医院間交流に尽きます。そういう場を与えていただいたことに感謝しています。診療所ぐるみの交流は医院の成長を加速させます。コロナ禍以降Zoomなどで遠隔地の仲間との交流は容易になりましたが、こうやって振り返ると、やはり地域での顔を合わせた交流、ときに切磋琢磨の効果は大きかったです。

千草

開業10周年、研究会発足10周年の年に、このままマイペースのままじゃダメだと院内ミーティングで宣言して、ヘルスケアミーティングに参加したところ、たまたま会場で藤木さんに初めて声をかけられ、それがきっかけでそれまでとは違うペースで取り組みが進みました。さらに多くの同志を紹介していただき、たくさんの方のアドバイスや勇気をいただきました。口腔内

規格写真、全顎デンタル X 線写真撮影の質へのこだわりや、ウィステリアの再導入、歯周基本治療の見直しなども取り組みました。当院のスタッフに直接藤木さんの言葉で話しかけてもらえたことで、院長の私が言うよりも素直に、効果倍増で受け入れてもらえることも多々ありました。またその後、九州でヘルスケア・ウエストを立ち上げたことで、千草歯科のスタッフも「我らがやらねば」という意識が芽生え、各々が自覚を持って行動する機会を得ることもできました。

高橋

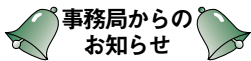
医院見学はたくさんしました。今でもしたいです。やはり実際に行くと、いろんなものが見えます。空気感もわかります。今は、オンラインもあるので、それはそれで羨ましいのですが、情報がありすぎて活用しにくいかもしれません。当時「大西歯科や岡歯科、西村歯科をお手本にやろう」とスタッフに言ったのが、スタッフにとってもシンプルで分かりやすかったように思います。

藤木

子どものむし歯予防を保護者に伝えるために、さまざまなパンフレット、冊子を作っていました。症例は大西歯科のものを使うことで自信を持って説明できたと思います。歯科衛生士の育成は焦ってはいけなかったことがわかっていたので、歯周治療は患者を選んで時間も余裕を持たせるように工夫しました。すべての患者に同じようにできれば理想的ですが、すべて中途半端になればそれ以上になれません。最初の担当患者を選択するのは、未来の多くの患者のためと考えています。

—ヘルスケア歯科学会は、うまくいかなかったことも、教えてくれる集まりです。それも勉強になります。「こうすると上手くいかなかった。」と聞けば、それを避ければいいわけです。一つの医院で試行錯誤するより、ノウハウをもらって成長して、より高度な難題に挑んで欲しいと思っています。

5~8 は次号 vol.28 no.4 に続きます。



事務局からの
お知らせ

年会費口座振替のお知らせ

2019年より年会費の支払いについて、「株式会社アプラス」の収納サービスを利用し、口座自動振替をしています。

毎年10月27日（金融機関の休日にあたる場合は翌営業日）に翌年度会費が自動引き落としとなります。

現在お手続きされていない方で、引き落としをご希望される方は、このニュースレターに同封の申込書をご利用ください。

申込み締切：2025年8月31日（日）消印有効

2026年度分引き落とし日：2025年10月27日（月）

当学会の年会費は「郵便振替」「銀行振込」「自動引き落とし」「オンライン決済【ペイパル、デビットカードおよびクレジットカード】」から選べます。

【会費改定について】

第5号議案（定款40条改定）の可決に伴い、2026年度から会費が変更になります。

2026年度会費納入のご案内は、2025年9月発送のニュースレター（vol.28 no.4）に同封します。銀行口座からの自動引き落としを設定いただいている方については、2025年10月27日の引き落とし分から改定金額となります。

定款第40条は、右のとおり改定されました。

但しカッコ（ ）内は、改正条文に含まれません。

（会費）

第40条

当法人の会費は前納制とし、次年度分を当年度に納めるものとする。別に定める場合には、会費の減免を受けることができる。

- 1) 正会員

歯科医師	15,000円（12,000円を改め）
その他	4,000円（3,000円を改め）
法人賛助会員	50,000円

 特別会員 特別会員は会費納入義務を負わない。（以下略）
 終身会員 終身会員は65歳以上の会員に限り、会費年額の8年分を一括前納することにより本条の規定にかかわらず、終身において正会員の資格を有するものとする。
- 2) 入会金（この項変更なし）

賛助法人会員のニュースレターへの広告封入募集を始めました

第8期第1回オピニオンメンバー会議にて赤字決算の緩和として継続審議となりました「賛助法人会員から広告または協賛を得る案」に関し、その後のコアメンバー会議にて審議した結果、広告封入の募集（有料）を行うことが決まりました。

これにより、賛助法人会員からの応募があれば、郵送費の負担が一部軽減されます。

今号ニュースレター（vol.28 no.3）より、賛助法人会員のチラシやパンフレットが封入されます。ご了承ください。

連載 21

フォーラム

フォーラム

【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】 ウェル baby イング

丸山修平 (医) 仁志会 丸山歯科医院)



会員サイト内: [赤ちゃん歯科ブログ]

★月1回21時からZoomミーティングを行っております。

【当院における赤ちゃん歯科の取り組み】

当院では、「子どもの口腔機能の健全な発達は、早期からの保護者支援によって実現する」との考えのもと、赤ちゃん歯科に積極的に取り組んでいます。歯が生える前からの関わりを大切にし、子どもたちの将来の健康と、親の育児に対する安心感を支える地域活動を展開しています。

赤ちゃん歯科の活動として行っているのは主に3つあります。

一つ目の取り組みとして、妊娠中に来院された患者さんに案内をし、出産後に育児相談を院内で実施しています。妊婦さんや子育て中のお母さんが来院された際には、保育士が対応し、赤ちゃんとの生活を見据えた準備や悩みに寄り添ったアドバイスを行っています。さらに、月齢ごとの発育段階に応じた育児相談も行い、離乳食の進め方、姿勢や抱っこの仕方、口腔機能の発達に影響する生活習慣など、情報提供を通じて、口腔機能を切口にして健康に子供が育つための支援を行っています。

二つ目は、**地域の子育て支援センター**での講演活動です。年に2回、0歳児から4～5歳児を対象とした講演を行い、保護者に向けて、口腔機能の育ちの過程や、う蝕予防に必要な知識をわかりやすく伝えています。現場では、子どもの「嘔む・飲み込む・話す」といった基本的機能の成長を阻害する要因や、現代の生活環境との関係についても共有し、日常生活のなかで実践可能な工夫を紹介しています。

三つ目は、園医を務める**保育園**での**母親教室**です。ここでも、赤ちゃ



んの発達を支える日常の関わりについてお話しています。とくに、家庭内での食事環境や、育児のときのちょっとした心構えや工夫が口腔機能の発達に及ぼす影響について、具体的な事例を交えて紹介し、保護者の気づきと行動変容を促しています。

これらの取り組みを通じて、保護者が「正しい知識と視点」を持って育児に臨めるよう支援することが、子どもたちの将来の健康な口腔機能形成につながると考えています。私たちは今後も、地域に根ざした赤ちゃん歯科の実践を通じて、子どもたちの健やかな未来に貢献していきたいと思っています。



赤ちゃん歯科フォーラムではヘルスケアミーティング2025の2日目にこのメンバーで発表します。

みなさん11月に会いに来てください。

公認団体: 第32回 ADF スタッフミーティング
〈ADFで楽しみながら一緒に学びませんか?〉

日時: 2025年9月6日(土) 11:30 ~ 16:30 (17:00より懇親会)
場所: 兵庫県立淡路夢舞台 国際会議場
対象: スタッフとともに学ぶ機会を探している、チーム医療に興味がある、他院の取り組みを知りたい、将来の開業に向けて医院像を模索しているなど、ご興味のある方々のご参加を広く募集しています!

参加費: 現地/オンライン共通 3,000円 懇親会 8,000円
申し込み: ADF事務局 おおの歯科・矯正歯科 担当 中川美咲までメールにてお申し込みください。

送信先: ohnoshikaiinadf@gmail.com

日常臨床での成果・疑問点等をスタッフが発表し、お互いに様々な知識を吸収できることを目標にしている「スタッフのスタッフによるスタッフのためのミーティング」です。

発表はマストではありませんので気軽にご参加ください。



⑤ 163人の進行度別・メンテ期間か否かでの抜歯本数の分布

	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台
骨吸収なし	8	5	2	1	0	0
初期	6	6	7	17	4	4
中等度		3	5	18	19	25
重 度		5	1	6	12	18
小 計				10	9	12

メンテ期間以外での抜歯 メンテ期間中の抜歯

図 7

⑥ 検索 (2) の自動計算で得られる基礎データ

成人患者のメンテナンスの効果 (10年以上) (中等度) (65人)

	30歳台 (3人)	40歳台 (10人)	50歳台 (19人)	60歳台 (24人)
初診時平均年齢	35.7	46.3	55.1	63.2
現在平均年齢	49.0	60.3	68.9	77.2
初診時残存歯数	25.7	25.0	21.4	19.4
最新残存歯数	23.7	22.4	18.6	17.4
初診からの喪失歯数	2.0	2.6	2.8	2.0

※上記数字は集計画面の検索(2)で全て自動計算されます! 2025.5.16 現在

図 8

⑦ 喪失歯数の分布は個々のレコードを見ながら数えます!

図 9

⑧ グラフを作るためにエクセルに入力します。

初診から最新までの喪失歯数の分布	0本	1本	2本
人数	5	3	10
パーセント	26.3%	15.8%	51.9%

	1	2	3
メンテ期間以外での抜歯	No.21	No.132	No.223
メンテ期間中の抜歯	0	3	0
上記のうち暫歯	0	0	0

破折2, 悪化1.

図 10

⑨ エクセルでグラフを作ります。

対象: 成人患者 (初診から10年以上) (初診時50歳台) (中等度) の19人

1人あたり平均2.8本だが、歯をまったく失っていない人と多くの歯を失った人が混在している。

※メンテナンスの効果を知るためには、歯周基本治療中に保存不可能と判断して抜歯した歯を省いて考察する必要があります。

次のページへ

図 11

は集計画面は検索 (1) ~ (3) の3つありますが、その中から今回のテーマでは検索 (2) を活用します。画面の上3分の2は個人のデータ、下3分の1は対象群 (19人) のデータが表示されます。気になったら、いつでもおとり歯周病画面や口腔内写真をすぐに表示できます。

【図7】各群のメンテナンス期間以外での抜歯、メンテナンス期間中の抜歯数を分類しました。この段階では、やはり当院はメンテナンス中でも抜歯数が多い、やばいな…、と内心想っていました。

ここまできたら、藤木さんから「抜歯数の分布も出してみてください」と謎の指示がきました。以前何かで見た記憶があったので調べてみたところ、私たちのバイブルである『HOME DENTIST PROFESSIONAL 4』(インターアクション社刊)の168~171ページに大西歯科における同様の検索結果が掲載されていたので、まねっしてとどろんどろろグラフを作りました。以下はその手順です。

【図8】初診時30歳台~60歳台までの諸データを示します。この数字は自動計算されて得られますが、すべて平均値です。平均値だけでは実態はみえてこないのです。ここから初診時50歳台、中等度の19人を対象群として詳しく調べていきます。

【図9】対象群19人の個別データ(歯周病画面、口腔内写真、抜歯履歴等)を見ながら、個々の抜歯数を紙に書き出して数えます。平均値は2.8本でしたが、結構バラついています。12歳児のDMFT等と一緒にです。

【図10】グラフを作るためにエクセルに入力します。デスクトップにウイステリアとエクセルを表示させひたすら入力します。

【図11】対象群の初診から最新までの喪失歯数の分布を示します。こうしてみると、10年以上にわたり1本も喪失していない患者さんが5名、1本だけ喪失した患者さんが3名と40%以上を占めていることがわかります。ここからが大切で、「メンテナンスの効果を知るためには、歯周基本治療中に保存不可能と判断して抜歯した歯を省いて考察する必要があります。」と、バイブルに書かれています。…そのとおりですよ。

【図12】対象群のメンテナンス中の喪失歯数の分布を示します。メンテナンス中の喪失歯に限定すると、10年以上にわたり1本も喪失していない患者さんが7名、1本だけ喪失した患者さんが3名と50%以上を占めていることがわかります。その一方で、メンテナンス中にも8本、9本の喪失に至ってしまった患者さんが1名ずついます。

【図13】対象群の初診から最新までの喪失歯数の分布を示します。メンテナンス中に歯周炎が悪化して抜歯に至った歯

が赤枠内の 15 本という結果です。先ほどと同様に、「歯周治療におけるメンテナンスの結果を知るためには、歯周炎の悪化以外の抜歯を除去した結果で判断する必要があります。」と、バイブルに書かれています。…まったくそのとおりです。つまり、検索をするためには「何を知りたいのか？」という目標を明確にする必要があると思います。今回私はそれが分からなかったで、質問して方向性が見えてきて、いろいろやってみたという感じです。

【図 14】 今度は対象群のメンテナンス中の歯周炎悪化による喪失歯数の分布を示します。10 年以上 1 本も喪失していない患者さんが 12 名、1 本だけ喪失した患者さんが 4 名とおよそ 85% を占めました。一方で、1 人で 7 本も歯周炎の悪化が原因で喪失した患者さんがいます。

【図 15】 対象群から現在喫煙者を除いた 17 名においてメンテナンス中の歯周炎の悪化による喪失歯数の分布を示します。開業当初の 17 年前よりも喫煙者は減っていますが、まだまだ喫煙者（全国平均比ではとくに女性の喫煙者）が多い青森県ではありますが、この群では現在喫煙者は 2 名のみでした。【図 8】 から現在の平均年齢が 68.9 歳なので、多くは退職をされ、またなんらかの全身疾患の服薬療養中なので、医科受診がきっかけになっていると思われます。ここの数字だけは西大歯科とは違っているように思います。

今号ではここまでにし、次号ではこれらのデータから感じたことをまとめてみます。

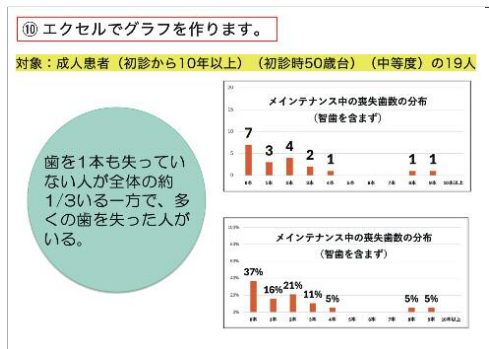


図 12



図 13

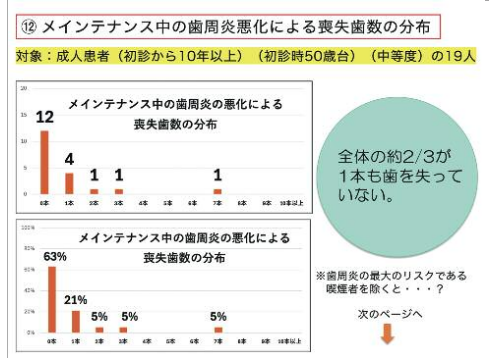


図 14

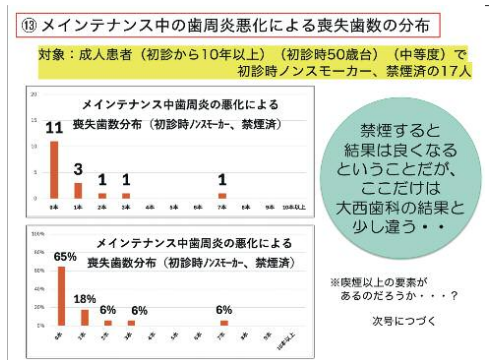


図 15

第 18 期歯科衛生士育成プログラム

実技 再検定会

日時：2025 年 9 月 15 日（月祝）

場所：太陽歯科衛生士専門学校（東京・荒川区）

基礎コース（第 1 回）

日時：2025 年 9 月 15 日（月祝）

場所：太陽歯科衛生士専門学校（東京・荒川区）

第 22 回認証ミーティング

日時：2025 年 10 月 5 日（日）午後

場所：AP 浜松町 & Zoom

ヘルスケアミーティング 2025

語り合う 歯周基本治療の実践 —ひとをみるヘルスケア診療

日時：2025 年 11 月 2-3 日（日・月祝）

場所：一橋大学一橋講堂＋会議室・Zoom 配信（大講堂のみ）

1 日目登壇診療所（予定）

大西歯科（神戸市）

医）仙道会 いいだ歯科クリニック（福岡市）

医）仁志会 丸山歯科医院（深谷市）

医）C&P 西すずらん台歯科クリニック（神戸市）

医社）明恵会 古市歯科医院（高松市）



歯科クリニックのパソコンネットワーク 環境健全化計画 その3



森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート技術者 アクセス代表)

☆ アクセス

〒 842-0033

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13

TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767

携帯 090-1920-7894

URL <https://www.access-dental.jp/>

URL <http://www.access-pcdoc.jp>

E-mail kazu@access-pcdoc.com

現在歯科クリニックでは、タブレット端末の導入が急速にすすんでおり、ひとり一台、スタッフそれぞれの専用端末で診療に臨まれているところも少なくないようです。とくに iPad に対応した歯科システムが増えてきており、ヘルスケア診療では CRASP を iPad で活用されているクリニックも増えています。

タブレット端末に欠かせないのは無線 LAN です。一般的にネットワークで最も使われるのは「WiFi」です。「WiFi」という言葉を聞いたことがない方はいないと思いますが、この WiFi は無線通信規格の名称です。ほかにも有名な規格はマウスの接続によく使われる「Bluetooth」、スマホ端末の決済などに使われる「NFC」などがあります。それぞれ特徴があり、その用途によって使い分けられています。WiFi 規格はパソコンネットワーク環境に広く普及しています。

2025 年 6 月現在、WiFi のなかでの最新規格は「WiFi 7」です。簡単にいうと、末尾の数値が大きくなるにつれて、「高速に、より多くのデータを無線でとばすことができる」というわけです。文字より写真、写真より動画となると、1 ファイルのデータ量が大きくなります。さらに、4K や 8K など写真や動画の解像度が鮮明になるにつれ、よりデータ量も大きくなります。マイクロ映像を動画で保存し、それをタブレット端末で患者さんに見せるような場面では、高速で安定性した WiFi 環境が必要になってきます。

院内ネットワークに無線環境を作る場合、「無線ルーター」を導入するという認識かと思います。家電量販店などで購入され、ご自身で院内に設置されたことがあるという先生もおられるでしょう。

「無線ルーター」という機器は、「WiFi 機能のついたルーター」という 2 つの役割を持った機器です。一般的にクリニックの環境では、ルーターという機器がすでに入っていると思います。

その環境の中に、ご自身で購入された無線ルーターを設置すると、物理的にルーターが 2 つになります。この場合、追加する無線ルーターの「ルーター機能」を切って、無線機能のみが動くように設定をしなければなりません。一般的な無線ルーターは、設置するネットワークの状況把握をして、その作業を自動的にやってくれるものがほとんどなので、素人でもある程度無難な設定は実現されます。ただこの「ある程度無難な設定」は、ときにネットワーク全体に不具合を起こすこともあり注意が必要です。ある日突然無線どころか、院内の歯科システムが正常に動かなくなったという事例もあります。

なぜ、そんなことが起きるのかについては、あまりに専門的すぎるので、ここで詳細な説明はさけますが、そのクリニックの状況に適した機材の選定から設置設定まで専門家に任せるべきです。無線の設置は軽くみていると、ある日とんでもない目にあう可能性が非常に高い分野です。

有線 LAN 接続と無線 LAN 接続では、無線技術がかなり進化した現在でも、やはり有線 LAN 接続にはかないません。とくに iPad などのタブレット端末が診療現場で主流となってきた現在においては、なおさら高速で安定した無線環境づくりは欠かせません。ユニット数の多いクリニックになればなるほど、安定した無線 LAN 環境づくりは難しく、専門家であってもときに苦勞します。ただ無線機材を繋げばよいわけではなく、「壁の材質は何か」「壁などの障害物が多いか少ないか」「平屋か階層があるか」なども含めて、そのネットワークにどんな機材がどのようにつながって構成されているかまで総合的に把握して、我々専門家は無線機器の選定から設置設定を行います。

院内に新たに無線 LAN を導入したい場合、また古くなった無線環境をリニューアルしたい場合は、専門家に依頼することを強くおすすめします。



SNS/YouTube で情報発信中!

学会 web サイトの更新情報(セミナー・イベント情報)をほぼ
随時発信中! 医院のスタッフの方もどなたでも登録 OK!
*会員限定のメールマガジンも不定期配信中! 事務局までメー
ルアドレスを登録してください。



ヘルスケア フォーラム

東京ワンデーセミナー 2025+(プラス)

2025年5月18日(日) 日本歯科大学東京キャンパス

開催報告



杉山修平 (杉山歯科医院)

5月18日(日)に日本歯科大学東京キャンパス141講堂を会場として「東京ワンデーセミナー 2025+」を開催いたしました。1ヵ月前には定員を満たし、昨年を上回る約128名の方々にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。本セミナーは「一日でヘルスケア歯科診療をより多くの方に知っていただくこと」を目的としたセミナーです。登壇者として、丸山修平さんをはじめ、認定歯科衛生士の大塚杏菜さん、宇田川義朗さん、私(杉山修平)がそれぞれの立場から、ヘルスケア歯科診療の意義や臨床での取り組みについて熱く語りました。

また今回は、日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座の名生幸恵先生にご登壇いただき、ヘルスケアとも親和性の高い「小児の口腔機能」について講演いただきました。参加者は全国各地から集まり、歯科医師、歯科衛生士、歯科助手など多

様な職種が一堂に会しました。また12名の学生のみなさんにもお申し込みいただき、新たな視点での学びと交流の場となりました。

講義後の質疑応答では活発な質問が飛び交い、受講者の関心の高さが伺えました。また、参加者同士によるディスカッションの時間も設けられ、ヘルスケア歯科診療へのモチベーション向上につながる有意義な場となったと感じています。

セミナーを通して、参加者のみなさまがヘルスケア歯科診療の重要性と実践意義を改めて実感し、明日からの診療に新たな視点を加えていただける機会になったことと思います。

参加者報告

5月18日、日本歯科大学で開催されたワンデーセミナーに参加しました。とくに印象に残ったのは丸山修平さんの講演でした。丸山さんは「ピンピンコロリ」をキーワードに、介護に頼らず自立して生涯を全うするための社会づくりの重要性を語られました。健康寿命の延伸には



参加の学生さんたちと

歯科の果たす役割が大きく、地域に根ざした支援や、予防を中心とした継続的なアプローチが不可欠であると話してくれました。

また、規格性のある資料をとり、そのデータを蓄積することの価値についても話されていました。日々の診療や地域活動への姿勢が大きく変化する気づきを得ました。

参加者同士の交流を通じて多くの刺激を受け、今後の診療に生かしていきたいと思います。

加藤 合 (みずき歯科クリニック)



私は歯科衛生士1年目として、理想の歯科衛生士像や仕事への意欲を高めるためにセミナーに参加しました。ヘルスケア診療は、過去から現在の変化を記録・比較し、長期的に疾患を捉えることが重要であると学びました。今の私にできることは、病因論を理解し、デンタルエックス線写真や口腔内写真など、正確な記録を残すことだと感じました。また、大塚さんの講義から、患者との会話や信頼関係を大切にすることが継続的な来院につながると学び、サブカルテの活用などを通じて、愛される歯科衛生士を目指したいと強く思いました。今後は明確な目標を持ち、日々の積み重ねを大切に実践していきたいです。

岩城 楓 (歯科衛生士・川原けんこう歯科医院)





■参加者アンケート抜粋

- 一見ヘルスケア歯科診療は、治療をしない＝技術が上がらない、と思われがちだが、まったくそんなことはなく、メインテナンスを踏まえた治療計画、治療介入が可能なので、この診療を続けていきたい。(Dr：会員)
- 盛りだくさんの内容で、とても満足しています。診療所スタッフと参加しましたが、目を輝かせて拝聴している姿を見られてうれしく思いました。若いスタッフに伝えたいと思っていることを伝えていただけて本当に感謝、来てよかったです。(Dr：会員)
- 自分一人ではできない。今日は楽しかったのでスタッフを連れて来ればよかった。自分が変わればよい。(Dr：非会員)
- 院長・勤務医・スタッフ・TC・受付、それぞれの立場になって聴け、心に刺さる内容が盛りだくさんでした。(DH：会員)
- 今まで、なんとなく口腔内写真・デンタル撮影・医療面接を行っていたので、意味を分かったうえで、時間軸で患者さんを診ていきたいです(DH：非会員)
- ヘルスケア診療を行う目的やゴールを明確にし、医院がチームとして一つになって診療することで、より院内の雰囲気や働き方を良いものへ高めていけると感じた。(DH：非会員)
- 上手くいっている医院も、どこも暗黒時代はあるんだなと思ったし、そこで自分と向き合うことでチームの絆は強くなるんだなと気づきました。(歯科助手：非会員)
- 院長の今やりたいこと、夢を聞いてみたいです。(DH：会員)
- 自分の医院以外の方のお話を聞く機会が今までなかったため、すごく刺激的な時間を過ごすことができました。歯科の業務には患者さんと自分の人生に大きく関わるものだと改めて気がつきました。(受付：非会員)
- プロのかかりつけ医(宇田川先生)素敵！(歯科助手・保育士：不明)
- 医師や歯科衛生士でなくても学べることがあるなと感じました。参加できなかったスタッフにも共有します。(歯科助手・受付：非会員)



公認団体：シン関ヘル & k-wave 共催 ペリオドントロジー & カリオロジーについて

2025年5月11日(日) 千里ライフサイエンスセンター



西村 誠 (泉大津市開業)

2025年5月11日(日)、千里ライフサイエンスセンターにて、【ペリオドントロジー & カリオロジーについて (役立つデンタルエックス線画像の活用法)】をテーマとしたセミナーが、「シン・関ヘル」と「K-wave」の共催により開催されました。歯科医師・歯科衛生士がともに学ぶ貴重

な機会となりました。

当日は約100名の参加者が集まり、午前10時から午後4時まで、4名の講師による充実した講演が行われました。

最初の講演では、三重県開業で日本歯周病学会常任理事でもある藤田剛さんが「歯科衛生士なら知っておきたいペリオドントロジーの基礎と臨床」と題して、歯周ポケットの変化をどう診ていくか、診査・診断からメインテナンスに至るまでの実践的な知識と視点を共有されました。

質疑応答では多数の質問があり、日頃の疑問に思っていたことが話を聞いて繋がった感覚を感じました。

次に、広島大学歯科放射線学教授の柿本直也先生が「歯科衛生士も知っておき



たいデンタルエックス線画像の活用の基本と使い分け」と題し、基礎の話から、パノラマ・デンタル・CBCTそれぞれの特徴と臨床における役割の違いについて、症例をもとに解説されました。とくに照射後の散乱線の話など、初めて聞くような話もあり、日常ではなかなか聞くことができない貴重な話を聞くことができました。

昼食を挟んでの午後の講演では、青森県で開業されている滝沢江太郎さんが「臼歯部を平行法で撮影する方法～基本と

応用～」について講演。撮影技術の基本から応用まで、日常診療で遭遇しやすい課題とその工夫について、実際の撮影している動画等を交えて具体的に紹介されました。昨年のヘルスケアミーティング2024でもお話をさせていただいていた内容は復習にもなり、撮影技術のレベルアップの必要性についても意識させていただきました。

最後に、愛媛県開業で当会代表理事の高橋 啓さんより、「歯科衛生士と歯科医師で聞こう！ カリエスマネジメントの

話」が行われました。カリエスマネジメントの話を症例を交えてお話しいただき、熱い高橋イズムを感じて改めてヘルスケア歯科診療という診療スタイルを目指してよかったかと再確認いたしました。

デンタルエックス線をテーマにしてさまざまな切り口からご講演いただきとても充実した1日となりました。なにより歯科医師と歯科衛生士が共通の視点を持つことで、より高い診療の質を目指すための第一歩となる機会でした。

そして、昨年「兵庫ヘルスケア」と「関ヘル阪和」が合体して、「シン・関ヘル」としての第一回目の活動がこうしてたくさんの方に参加いただけたことを嬉しく思います。

「シン・関ヘル」では一緒にヘルスケア診療を高めていく仲間をいつでも募集しております！ 案内をご希望の方は学会事務局までご連絡のうえ、ぜひメーリングリストへご参加ください！



Healthcare bibliography

ヘルスケア歯科学会会員の
執筆掲載雑誌・書籍を報告！

報告：大井孝友

雑誌掲載

最新カリオロジーに基づいたう蝕のアセスメント&マネジメント

⑤う蝕リスク管理における唾液の重要性と減少によるリスク
麻生幸男 他
歯科衛生士 5月号 p.56-63 クインテッセンス出版

あるあるトークで考える DHのお悩み解決策
落合真理子 他

⑥仕事とプライベートのバランスが難しい
歯科衛生士 5月号 p.64-67 クインテッセンス出版

⑥院内環境の整備が進まない
歯科衛生士 6月号 p.68-71 クインテッセンス出版

読者が本当に聞きたいこと、全部答えます。[2024 年下半年①]
説明を聞き入れてくれないほど泣いてしまう方への対応はどうすればいいでしょうか？
高木景子
歯科衛生士 5月号 p.90 クインテッセンス出版

症例をシェアして、ステップアップ！ DH誌上 Case Presentation
2歳から18歳の現在まで、う蝕予防に取り組んできた16年経過症例
大本紗代、高橋啓
歯科衛生士 6月号 p.101-107 クインテッセンス出版

「お気をつけて、ご来院を」～歯医者さんの受付日誌～
高橋 啓 (ペンネーム：坂本慎太郎)

第17回 治療の選択
nico 5月号 p.49-51 クインテッセンス出版

第18回 歯科治療はなかなか終わらない？
nico 6月号 p.51-53 クインテッセンス出版

サモアにおける齲蝕予防活動
フッ化物洗口で変わる口腔衛生と意識
浦崎裕之
歯界展望 6月号 p.1037-1040 医歯薬出版

エビデンスに基づくう蝕予防プログラム
麻生幸男 他

⑦う蝕予防における洗口液（薬用成分）とキシリトール
デンタルダイヤモンド 5月号 p.68-73 デンタルダイヤモンド社

⑧臨床における実際リスク評価症例①
デンタルダイヤモンド 6月号 p.64-71 デンタルダイヤモンド社

魂のハイジーンワーク 次世代へのバトン
患者さんとのかわりが歯科衛生士としてのステップアップに繋がる
奥山洋実 他
DHstyle 2025SPRING p.74-79 デンタルダイヤモンド社



認定歯科衛生士実技検定会 (2026年7月) 受検者募集案内

「健康を守り育てる歯科診療」＝ヘルスケア歯科診療を実践するためには、専門的な知識・技術・コミュニケーション能力を備え、歯科衛生士としての役割を的確に果たせる「ヘルスケア歯科衛生士」の存在が欠かせません。このような人材を育成するために、基礎コースと実技検定会からなるプログラムを実施しています。前回のニュースレターでは基礎コースの受講者を募集しましたが、今回は実技検定会の受検者募集に関するご案内です。

実技検定会について

今期より、歯周組織検査検定および口腔内写真撮影検定は、課題（病因論検定、症例検定、講義動画視聴）をすべて修了・合格した方のみ受検可能となりました。

受検資格：学会正会員（入会は受検確定後でも可）

本人に直接連絡の取れるメールアドレスを所有していること（医院のアドレスでも可、ただし本人に遅滞なく伝わる必要があります。頻繁に確認しないアドレスは不可）。

※連絡は原則としてメールのみで行いますので、ご注意ください。

申し込み時点で臨床経験 1年以上

受検費：30,000円／1名

定員：10名

日程：2026年7月5日（日）

会場：医）仁志会丸山歯科医院（深谷市）

検定内容：歯周組織検査 実技検定／口腔内写真撮影 実技検定

※実技検定受検に必要な3項目を期限内にすべて合格した受講生のみ受検可能です。合格期限：2026年5月31日

検定会は年2回開催予定（2回目以降の日程は未定）。

症例提出が間に合わなかった場合でも、次回開催時に間に合えば受検可能です。

システムの変更がない限り、年数を問わず受検可能、ただし、内容に変更があった場合は、最新の要項に従うこと。

○実技検定受検に必要な3項目

1. 病因論検定
課題図書を読んだうえで設問に回答。80%以上の正答率で合格。
2. 症例検定
う蝕および歯周病について、各4症例を提出。
※最終提出期限：2026年5月20日
3. 講義動画視聴
指定されたオンライン動画を視聴し、確認テストに回答

詳細は、事前に送付される資料をご確認ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。たくさんのご応募をお待ちしております。

申込締め切り：2025年7月31日（木）

学会ホームページよりお申し込みください。先着順。

○認定歯科衛生士を受検するためには以下の要件のいずれか1つを満たすことが必要です

1. 日本ヘルスケア歯科学会主催のワンデーセミナー等（対象セミナーは別途定める）を過去2年間に参加していること
2. 日本ヘルスケア歯科学会主催の歯科衛生士研修会等（対象研修会は別途定める）を過去2年間に参加していること
3. 日本ヘルスケア歯科学会主催のヘルスケアミーティングを過去2年間に参加していること

注）過去2年間とは受検申込日を基準とする。

院長の責務

ヘルスケア歯科衛生士がその能力を発揮するには、歯科衛生士の個人的能力によるものと、医院のシステムや院長のコンセプトによるものがあるので、育成基礎コースを受講する歯科衛生士が勤務する診療所の院長は、日本ヘルスケア歯科学会主催のワンデーセミナー等に参加経験を有することが望ましい。



第18期生 (2025年度) 基礎コース 追加募集のお知らせ

追加募集人数：4名（先着順）

受講資格：学会正会員（入会は受講確定後でも可）

本人に必ず確認の取れるメールアドレスを所有していること（医院のアドレスも可、本人に遅滞なく伝わる必要があります）
LINEアカウント（受講生とスタッフでグループLINEを作成するため）

※連絡は原則としてメール、LINEでのみ行います。
臨床経験 1年以上

受講費：160,000円／歯科衛生士1名

【実習・講義】会場：太陽歯科衛生士専門学校（東京・日暮里）

1. 実習日程（内容は予定）

第1回 2025年9月15日（月祝）

第2回 2025年10月19日（日）

第3回 2025年12月14日（日）

2. 病因論検定
3. 症例検定
4. 講義動画視聴

【検定】会場：医）仁志会丸山歯科医院（深谷市）

2026年7月5日（日）

検定内容：歯周組織検査実技検定・口腔内写真撮影実技検定

この検定は、上記の実習・講義をすべて修了（合格）した受講生のみが受検資格を得られます。

申込締め切り：2025年7月31日（木）

※詳細はホームページをご覧ください。

うちの診療所発表 ここを注目！

医) 仙道会 いいだ歯科クリニック

ひとをみて、人に寄り添った診療体制を目指して — 縁ある人を幸せにするために

技術だけじゃない，“人に寄り添う診療”のリアル!!

歯が抜けたことに悩む患者の背景には、就労や生活の不安、審美的な恐怖心がありました。

UP-SRP というテクニックだけでなく、患者の心にどう寄り添いながら診療を進めたか、治療と人生が交差するそのプロセスを、ぜひご覧ください。

Q UP-SRP って技術だけの話じゃないの？

違います。テクニックに加えて「相手の気持ちをくみ取る力」が問われる診療スタイルです。患者さんの本音に寄り添いながら、一歩ずつ信頼関係を築いていくことが、結局は治療の質にもつながります。UP-SRP は“やさしさをかたちにする技術”です。



飯田太一

2016年開業。2023年よりオピニオンメンバー。2023年認証診療所取得

医) 仁志会 丸山歯科医院

丸山歯科での歯周治療への取り組みの軌跡 — 患者さんとの関わりから学べたこと

「できなかった」が「できるようになった」軌跡に注目!!

患者さんと真正面から向きあいながら診療を重ねていくなかで、信頼は得られていたが、技術が伴っていなかった私たち。少しずつ関係を築き、治療の質も医院のチーム力も成長していった過程をお伝えします。ただ治すのではなく、人生に寄り添う診療がどう積み重ねられていくのか。そのプロセスのリアルをご覧ください。

Q 歯周治療の成功に大切なものは何ですか？

技術だけでなく、患者さんの人生に寄り添う姿勢。だからこそ私たちは「継続する診療」にこだわります。



丸山修平

1946年開業、3代目を2019年に継承。2019年よりオピニオンメンバー。2022年認証診療所取得。現コアメンバー。

医) C&P 西すずらん台歯科クリニック

“ひとをみる歯周基本治療”を継続するために — 当院が取り組むスタッフ教育の標準化

スタッフ教育を「人」に依存しない仕組みへ!!

UP-SRP という手技と指導法の導入により、誰が教えても同じ成果が得られる再現性の高い歯周治療教育を実現しました。新人歯科衛生士が不安を抱えずに成長できる環境を整えることで、結果として患者さんにも安定した医療を提供できる体制へ。若手を守りながら、患者さんの人生に寄り添う診療をどう続けていくか。その実践のかたちをお伝えします。

Q 歯周病患者の担当がプレッシャーになっていませんか？

当院ではUP-SRPによる教育標準化で、若手歯科衛生士の不安を軽減。誰が教えても同じように技術と自信が育つ環境を実現しています。



中本知之

2010年開業。2017年よりオピニオンメンバー。2015年認証診療所取得。

医社) 明恵会 古市歯科医院

歯周基本治療を通じて「ひとをみる」

「人生に寄り添う診療」とは何かを、3人の家族の記録から考える。

対話重視の診療体制のもとで、長年にわたって一人ひとりと関係を築いてきた記録は、「患者をみる」ではなく「ひとをみる」診療のあり方そのもの。スタッフの人生、患者の人生、医院の歩みが交差するその瞬間に注目してください。

Q ヘルスケア診療の魅力って何ですか？

データや治療内容だけではなく、その人の人生に寄り添う診療ができることです。だからこそ会話を大切に、時間をかけて信頼関係を築いてきました。我々の日々の診療記録が物語るのは、「通い続けてもらえる診療」の積み重ねと、その背景にある医院づくりです。



古市貴暢

1970年開業、2代目を2006年継承。2021年よりオピニオンメンバー。2019年認証診療所取得。現コアメンバー。

HCM2025 Day 2



あっちもこっちもヘルスケア コンテンツ紹介



大講堂

会議室 A

会議室 B

午前①

**あつまれ ヘルスケアの森
ヘルスケア診療攻略の手引き**

本多 毅 (ほんだ歯科クリニック)
長崎祥吾 (ワコ歯科・矯正歯科クリニック)

ヘルスケア診療を診療室に定着させるにはいくつかの関門があります。口腔内規格写真, X線写真, 歯周基本治療, カリエスリスクアセスメント, 情報共有とその提供, チーム医療… 乗り越える関門は同じでも, その乗り越え方やタイミングは様々で, そこに決まりはありませんし, なんとゴールもまだありません。

今回2つの診療所が過去現在未来を発表します。経験も地域も環境もすべて異なりますが, ここでのお話を聞いて何かヒントを見つけることができれば, 明日からの診療が少し変わるはずですよ。

対象者: 全歯科医療従事者・学生

**EBMヘルスケア流
歯周治療成功のKEY POINT**

吉武 秀 (吉武歯科医院)
坪川正樹 (湘南予防・歯科室)

【歯周治療の成功とは?】多くのグループでさまざまなディスカッションがなされていると思います。歯周治療を行ううえで, 特に今回は「歯石除去の手法」にフォーカスを当てて, 主に使用する歯石除去器具の効果や注意点を, “フォーラムEBMヘルスケア流”に整理してみたいと考えています。世界的な潮流から, ヘルスケア内で議論されているトレンドまで, 参加者全員で活発な議論ができることを期待してお待ちしております。

対象者: 歯科医師・歯科衛生士

**【聞く・話す・伝える】が劇的に変わる!
コミュニケーション術**

小野寺 未来 / 古澤安奈 (わたなべ歯科)

「相手にうまく伝えられない…」「自分の意見を言うのが苦手…」「医院の連携をスムーズにしたい…」「医院全体で同じ理念のもと進みたい」「患者さんの行動変容につながる関わりがしたい」そんな悩みを抱えていませんか? 仕事や日常生活において, コミュニケーション能力は非常に重要です。ちょっとしたコツを知るだけで, あなたのコミュニケーションは劇的に改善します。明日からすぐに実践できる術(すべ)を体験型のワークにてお伝えします。对患者さん, 対院内の人間関係, あなたの能力をワンランクアップさせませんか? (限定50名)

対象者: 全歯科医療従事者・学生

午前②

**根面う蝕の新しい診査法
R-ICDASを使おう!**

石塚洋一 (東京歯科大学准教授)
柘富健二 (医) 柘富歯科医院
杉山精一 (医社) 清泉会 杉山歯科医院

この30年間で高齢者の残存歯数は6倍に急増! 根面う蝕に真剣に取り組む時代が到来しました。みなさんの診療室ではどのように対応していますか? ICDASの根面う蝕版R-ICDASの導入, 根面を守り維持するにはどうしたらいいか? 効果的なフッ化物応用法など臨床例も提示しながら「根面う蝕をもっとちゃんと診ようよ!」をテーマとした80分間です。

対象者: 全歯科医療従事者・学生

**伝えたい! 赤ちゃん歯科入門
ヘルスケア診療爆伸び**

大塚杏菜 (その歯科クリニック)
笹川敦大¹ / 渡辺勝² / 原真理² / 小島有美²
仲井真縁² / 岡本愛実³ / 鮫島友美⁴
小林小雪⁴ / 寺岡徳光⁵ / 首野偉鍊⁶

赤ちゃん歯科, 口腔機能発達不全症など, 歯科業界で注目されている小児歯科の分野ですが, なかなか実践に対してハードルが高いと感じている方は少なくないでしょう。この分野に興味のある方, 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科助手など職種問わず, どの職種の方でも明日から役に立てる講演を企画しています! 各医院での赤ちゃん歯科に対する導入~実践例まで, 保険算定も含めて幅広く解説していきたいと思います。

対象者: 全歯科医療従事者・学生

**日ヘル認定DH★取得の先に見えるもの★
私たち, なかなかの『のびしろガール』じゃない?**

進行役:
林由加里 (医) 福田デンタルクリニック
山田美穂 (太陽歯科衛生士学校)

「認定歯科衛生士になりたい」「臨床を続けられない今, どうしよう?」そんなあなたに届けたい, リアルな声と経験のシェア会です。2つのグループで, 認定取得の道のりと, 多様な働き方をテーマにしたディスカッションを実施。講義スタイルではなく, おしゃべりスタイルの気軽な場です。ロールモデルの話に触れながら, 自分のこれからを一緒に考えませんか?

対象者: 歯科衛生士

ポスター発表募集中!

カテゴリー1 ペリオド症例発表
カテゴリー2 カリエス症例発表
カテゴリー3 ヘルスケア歯科診療のことならなんでも

演題について: 発表申請方法
ポスター発表を予定する方は, 件名を「HCM2025ポスター発表」とし事務局宛に, ①演題, ②カテゴリー番号, ③発表者名をメールでご連絡ください。
(center@healthcare.gr.jp)

筆頭発表者は会員に限ります。筆頭発表者名でお申し込みください(筆頭発表者にはヘルス通貨4ポイント付与)。

その他
ポスター発表は, 2日目の決まった時間に交流時間を設けます。発表者はなるべく会場にご参加ください。

ポスターサイズ
サイズ: 幅90 x 縦180 cm以内

申込み締切: 2025年8月31日

- 1: 日和が丘デンタルクリニック
- 2: わたなべ歯科
- 3: おかもとこどもおとな歯科
- 4: 医社) Compassion 宇田川歯科医院
- 5: ウィズデンタルオフィス
- 6: その歯科クリニック

あっちもこっちもヘルスケア

語り合う 歯周基本治療の実践

ひとをみるヘルスケア診療

2025年11月2-3日(日・月祝) 2日 12:30 ~ 18:10 3日 9:30 ~ 15:30 (予定)

一橋大学一橋講堂 + 中会議室(東京都千代田区)・オンライン(Zoom ウェビナー)

企画趣旨 昨年のヘルスケアミーティング2024において再確認した歯周基本治療のための手技、検査はヘルスケア歯科診療を行ううえで必要不可欠なツールです。ただ、検査値の結果だけに一喜一憂するのが我々の目的ではありません。そのツールを用いて日々の診療を行って、患者の人生に寄り添うことこそヘルスケア診療です。「歯をみる」だけでなく「口をみる」だけでなく、手技や検査を踏まえた先で「ひとをみる」ことこそ醍醐味でしょう。広い視野で患者を診て、癒し、その人生に関わり続けることがヘルスケア診療所に求められます。

今年は、長年われわれのロールモデルとなった大西歯科の新しい取り組みと、それを目指して行った4診療所の改革やチーム作りの事例から、症例を基に紹介し、みなさんと一緒に「ひとをみる」ことを語り合ひましょう。

昨年と同様、アンケートやディスカッションを通じて、ヘルスケアミーティング2025に参加されるみなさんが積極的に参加できるかたちを用意しています。歯周基本治療を通じてヘルスケア診療だからできる可能性を知る機会を提供できたらと思います。

(古市貴暢)

■ 1日目 語り合う 歯周基本治療の実践 一ひとをみるヘルスケア診療

12:30 ~ 18:10 (予定)

登壇診療所(予定):

- 大西歯科(神戸市)
- 医)仙道会 いいだ歯科クリニック(福岡市)
- 医)仁志会 丸山歯科医院(深谷市)
- 医)C&P西すずらん台歯科クリニック(神戸市)
- 医社)明恵会 古市歯科医院(高松市)



■ 2日目 あっちもこっちもヘルスケア 9:30 ~ 15:30 (予定) 午前中は選べる3コマ

	大講堂	会議室 A	会議室 B
午前①	あつまれ ヘルスケアの森 ヘルスケア診療攻略の手引き ほんだ歯科クリニック ワコ歯科・矯正歯科クリニック	EBMヘルスケア流・歯周 治療成功のKEY POINT 吉武 秀 坪川正樹	【聞く・話す・伝える】が 劇的に変わる！ コミュニケーション術 小野寺 未来 古澤安奈
午前②	根面う蝕の新しい診査法 R-ICDASを使おう！ 石塚洋一(東京歯科大学 准教授) 枡富健二 杉山精一	伝えたい！赤ちゃん歯科入門 ヘルスケア診療爆伸び 大塚杏菜と愉快な仲間たち	あつまれヘルスケアDH! 第二弾!! 日ヘル認定DH★取得の先に見えるもの★ 私たち、なかなかの 『のびしろガール』じゃない？
午後	齶蝕と歯周病のSymbiosisと Dysbiosisを知る 高橋信博(東北大学 名誉教授)		

※オンラインの方は大講堂演題のみ視聴可

11/2
懇親会
(会場参加のみ)
19:00 ~
参加費
7,000円

11/2-3
法人展示
スタンラリー
今年も開催！
ポスター発表
同時開催！

参加費 2日間

会場参加1名
オンライン1アカウント

歯科医師

会員 17,000円
非会員 20,000円

スタッフ/その他

会員 10,000円
非会員 13,000円

学生・研修医

無料(要登録・要証明書)

懇親会 7,000円
(要申込み、会場参加のみ)

2日目昼食 1,200円
(要申込み、会場参加のみ)

- ヘルス(学会内通貨)利用可
会員歯科医師: 20ヘルス
会員スタッフ: 10ヘルス
ご希望の方は事務局まで
- オンライン配信は、大講堂の演題のみです。
オンライン参加も1人1アカウントが必要です。アーカイブ配信はありません。配信の録画はご遠慮ください。
- 事前キャンセルは手数料を差し引いた参加費を返金します。

詳細は学会ホームページをご覧ください。



東北大学大学院歯学研究科
特任教授(研究)
東北大学総長特別補佐
(グローバル戦略室)
東北大学名誉教授

11/3 午後 齶蝕と歯周病のSymbiosisとDysbiosisを知る(高橋信博)

【講演内容概略】

臨床で、プラークは多いけど、う蝕も歯周病は軽度、あるいはその反対に、プラーク量に較べて重度になっている患者さんを経験していると思います。今回の講演では、私たちが毎日コントロールしようと奮闘している歯肉縁上縁下のプラークについて、病気が発現するように、どのように変化していくか、そして、どのようにしたら回復できるか、さらに、プラーク量とその病原性の関係まで、この分野の第一人者から最新の研究成果も含めて講演していただきます。毎日の臨床に直結する大事な内容ですので、多くの方に聞いていただきたいと考えています。

(座長: 杉山精一)